

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	スポーツ振興協働化事業					事業コード	650102				
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち				政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり				
	施策名	1 する・みる・ささえる・はじめる生涯スポーツの推進				施策コード	511				
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課				所属長	本田 和裕				
会計情報	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	01 保健体育総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	262	頁
計画期間	開始年度	昭和56年度	終了予定年度	令和10年度	関連計画名	福知山市スポーツ推進計画			R5現在の状況	継続中	
根拠法令等	スポーツ振興協働化事業振興協働化事業補助金交付要綱										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	-										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	・本市とスポーツ協会の協働による市民スポーツの支援や全国規模の大会誘致をすめる。 ・本市が実施するスポーツ振興施策を共に進め、市民スポーツの活性化や生涯スポーツを普及し本市のスポーツ振興を促進することを目的とする。										
対象者	(一財)福知山市スポーツ協会・全市民				対象者数	76,000		単位あたりコスト	0.2		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	(一財)福知山市スポーツ協会										
事業概要 (箇条書き)	■市民の体力向上とスポーツ精神の高揚を図り、生涯スポーツの普及発展に寄与することを目的に設立された(一財)福知山市スポーツ協会の円滑な事業運営を支援するため補助金を交付する。 ■市民の生涯スポーツの普及を目的とする市の施策であるスポーツ教室をスポーツ協会の組織と人材を活用し、令和3年度より委託事業として実施。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)			主な業務内容						
	需用費	38			印刷製本費						
	委託料	1,518			スポーツ教室運営委託料						
	負担金補助及び交付金	8,250			協働化事業補助金						

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	9,770		10,377		9,770		10,045		
	② 補正予算	0		0		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0		0		
	次年度繰越	0		0		0		0		
小計(①~③)	9,770		10,377		9,770		10,045			
予算財源内訳	① 一般財源	9,770		10,377		9,770		10,045		
	② 国支出金	0		0		0		0		
	③ 府支出金	0		0		0		0		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	0		0		0		0		
決算情報	① 流充用額	0		△ 40						
	② 配当予算	9,770		10,337						
	③ 執行額	8,601		9,806						
	④ 執行率	88.0%		94.9%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.34	/	0.00	0.24	/	0.00	/	/	
	② 概算人件費	2,720		1,920						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	11,321		11,726							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称				種類			実績金額		
								決算附属資料		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	スポーツ主催事業参加者数	人	- / 2000	307 / 2000	1353 / 2000	/ 2000	2000
スポーツ教室参加人数	人	0 / 0	126 / 500	1402 / 500	/ 500	500	500
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	スポーツ主催事業開催数	回	- / 8	3 / 8	5 / 8	/ 8	8
	単位あたりコスト		0.0	2867.0	1961.2		
	スポーツ教室実施種目	種目	- / 0	1 / 16	9 / 16	/ 16	16
単位あたりコスト		0.0	8601.0	1089.6			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	市のスポーツ振興の目的を共有して実施していくためにスポーツ関係団体を総括するスポーツ協会の役割は大きく必要性は高いため、補助金を交付し、事業を行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	令和3年度からはスポーツ協会のもつ組織力やノウハウを活用してスポーツ教室の運営を受託するなど財源確保にも努めているが、安定した事務局運営には一定の補助金も必要であるため、補助金の交付を行った。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 市民スポーツの振興に向けては、加盟団体が円滑な事業運営を行うことが必要であり、加盟団体主催事業の実施など市民スポーツ振興の取り組みを実施した。 また、スポーツ協会の組織力とノウハウを活用し、スポーツ教室を受託し、実施した。 各団体を総括するスポーツ協会の担う役割は本市のスポーツ行政の中心であり、また、さまざまな競技協会が傘下にあるため、その取り組みはスポーツ振興に対して有効である。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 市と共催による福知山マラソンをはじめとした市民参加型のスポーツイベントの実施においては、加盟団体をはじめスポーツ協会が中心的な役割を担い事業を円滑に進めている。 スポーツイベントの実施にあたり、感染症対策も講じ、安心・安全な事業運営のための経費や取り組みが必要となる。 市民のスポーツに関する調査分析の定期的な実施を行う必要がある。 業績指標が目標に達していないが、コロナ禍の影響を受けているためである。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 本市のスポーツ関係団体の統括や、市民スポーツの普及等、スポーツ協会の果たす役割は大きく、本市スポーツ推進計画の理念である「する」「みる」「ささえる」「はじめる」スポーツを推進するため、更なる市との協働により取り組みを進めていく。そのためには、事務局の安定した運営のための支援は必要であるが、民間資本の活用なども含め財源の確保に努め、福知山市は政策立案、スポーツ協会は実行組織として役割分担し、お互いが協議・連携し進め、総合的に市のスポーツ振興を進める。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	スポーツ推進委員会事業					事業コード	650103				
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち				政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり				
	施策名	1 する・みる・ささえる・はじめる生涯スポーツの推進				施策コード	511				
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課				所属長	本田 和裕				
会計情報	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	01 保健体育総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	262	頁
計画期間	開始年度	昭和37年度	終了予定年度	令和10年度	関連計画名	福知山市スポーツ推進計画			R5現在の状況	継続中	
根拠法令等	スポーツ基本法、福知山市スポーツ推進委員に関する規則										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	生涯スポーツ推進事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	スポーツ基本法に基づき委嘱を受けたスポーツ推進委員が、市民のスポーツへの感心を高め、幅広いスポーツ活動への助言、指導を行い、本市のスポーツを推進することを目的とする。										
対象者	全市民				対象者数	76,000		単位あたりコスト	0.1		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 () 負担金支出										
委託先・実施主体等	中丹地区スポーツ推進委員連絡協議会、京都府スポーツ推進委員協議会										
事業概要 (箇条書き)	スポーツ推進委員が主体となって「歩け歩け大会」や「スポーツレクリエーション大会」などの市民参加型の事業を主管するほか、地域への指導者派遣など、市民のスポーツ活動への支援や健康増進のための各種事業を実施している。 ■市民歩け歩け大会(2回/年)、スポーツレクリエーション大会 ■派遣指導(随時)										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)			主な業務内容						
	報酬・報償費	2,545			スポーツ推進委員報酬・手話通訳						
	旅費・需用費	540			旅費・消耗品費、印刷製本費						
	使用料及び賃借料	9			会場利用料、駐車場使用料、高速道路通行料						
	備品購入費	128			スポーツ備品購入費						
負担金補助及び交付金	139			スポーツ推進委員分担金、研修参加負担金、バス借上負担金							

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	3,041	3,442	3,058	3,078	
	② 補正予算	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0		
	次年度繰越	0	0			
小計(①～③)	3,041	3,442	3,058	3,078		
予算財源内訳	① 一般財源	3,041	3,442	3,058	3,078	
	② 国支出金	0	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	△ 60	△ 79			
	② 配当予算	2,981	3,363			
	③ 執行額	1,739	3,361			
	④ 執行率	58.3%	99.9%			
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.39 / 0.00	0.32 / 0.00	/	/	
	② 概算人件費	3,120	2,560			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	4,859	5,921				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類		実績金額	決算附属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	派遣講習受講者数	人	348 / 1200	464 / 1200	994 / 1200	/ 1200	1200
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	講師派遣回数	事業	15 / 50	24 / 50	48 / 50	/ 50	50
	単位あたりコスト		148.5	72.5	70.0		
	広報誌発行回数	回	2 / 2	2 / 2	2 / 2	/ 2	2
単位あたりコスト		1114.0	869.5	1680.5			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	スポーツ指導派遣依頼も多く、障害者の水泳指導など社会的意義の高い講座もあり、市民のニーズは高い。また、令和4年度から委員数が1名増え、25名体制での活動を行っている。 スポーツ基本法に基づいた委員であり委員の設置は必要である。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	スポーツの基礎的・専門的な指導や助言を市民に行うことで、スポーツの普及、高揚に効果的である。 より効果的な指導員派遣を行うため、派遣人数等精査した。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	市民のスポーツ活動の入口として、市民も取り組みやすく有効性は高い。 令和4年度は、市民歩け歩け大会やスポレク大会など主催大会の実施や公民館等の地域団体、児童館、高齢者団体に対しスポーツ推進委員を派遣しスポーツ指導を行った。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 市民の幅広いニーズに応じた派遣指導に応じることのできる更なる体制の構築が必要である。 市民のスポーツ活動の活性化に向けてスポーツ推進委員の市民への周知が課題。 指導者が固定されている。 若手のスポーツ推進委員の参加が必要である。 依頼されるスポーツの種目や、依頼者が固定されている。 スポーツ推進委員がスポーツ推進のインフルエンサーとして活動する機会を創出する必要あり。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 市民の多様なニーズに対応できるよう、障害者スポーツの振興に関する取組みを行ってきたが、今後多彩なニーズにこたえられるよう推進委員の研修を実施する。 スポーツ推進委員の指導スキルの向上のため研修会等へ派遣する。 スポーツ推進委員の公募など外部の新たな人材を取り入れ、若手のスポーツ推進委員を参加させるなど、組織を活性化させる。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	スポーツに対する市民ニーズの多様化に的確に対応した活動を引き続き実施する。 若年層のスポーツ推進委員の人材発掘に向けて、市広報を活用しスポーツ推進委員の活動の周知を実施する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	スポーツ少年団育成事業					事業コード	650104				
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち				政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり				
	施策名	1 する・みる・ささえる・はじめる生涯スポーツの推進				施策コード	511				
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課				所属長	本田 和裕				
会計情報	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	01 保健体育総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	262	頁
計画期間	開始年度	昭和42年度	終了予定年度	令和10年度	関連計画名	福知山市スポーツ推進計画			R5現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市スポーツ少年団育成補助金交付要綱										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	生涯スポーツ推進事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	スポーツ少年団活動を通じた団相互・団員相互の交流と少年スポーツの振興と青少年の健全育成を目的とする。										
対象者	スポーツ少年団員				対象者数	395		単位あたりコスト	3.7		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	福知山市スポーツ少年団										
事業概要 (箇条書き)	スポーツ少年団登録団体への育成補助金並び少年団活動の支援、主催共催事業を実施し、少年団活動を活性化させる。										
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)	主な業務内容								
	需用費	7	消耗品費								
	負担金補助及び交付金	88	スポーツ少年団育成補助金								

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	172	130	130	130				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0						
小計(①～③)	172	130	130	130					
予算財源内訳	① 一般財源	172	130	130	130				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	172	130						
	③ 執行額	132	95						
	④ 執行率	76.7%	73.1%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.24 / 0.00	0.17 / 0.00	/	/				
	② 概算人件費	1,920	1,360						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,052	1,455							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	団員数	人	611 / 860	604 / 860	395 / 860	/ 860	860
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	助成単位数	団	30 / 37	30 / 37	22 / 37	/ 37	37
	単位あたりコスト		4.9	4.4	4.3		
	広報誌の発行	回	0 / 1	5 / 1	1 / 1	/	スポーツ少年団育成事業
単位あたりコスト		0.0	132.0	95.0			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	日本スポーツ少年団、京都府スポーツ少年団及び近隣市町のスポーツ少年団とも連携し、スポーツを通じた青少年の健全育成をはじめ指導者の育成などを行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	登録料や大会参加料などを主な財源として運営している。また、登録各団も会費等による自主的な活動であり効率性は高い。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<p>少子化により、団員は減少傾向にあるもののスポーツの普及や青少年の健全育成に取り組む団体として有効性は高い。</p> <p>令和4年度は、剣道:2団、少林寺拳法:3団、野球10団、バレーボール:2団、ミニバスケットボール:4団、ラグビー:1団の計22単位団の活動を支援した。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 少子化の影響やスポーツの多様化により、団員数や登録単位団は減少傾向にあり、指導者養成も重要な課題であるが、団員間の交流や指導者の養成等に取り組んでいる。 引き続き少年団の認知度を高め、単位団相互の交流等、スポーツ少年団活動をより促進することが重要である。 令和4年度からは、サッカーの単位団の登録が無くなり、登録団数が大きく減少した。(競技団体の方針変更による) 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症による影響も限定的になると考えられるため、交流大会の開催、指導者養成などを活発に実施し、また広報誌を発行するなど、加盟団体以外にも参加を呼びかける機会を設け組織を活性化する。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	交流大会や指導者への研修会を実施するなど、加盟員の募集に向けた活動を行う。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	生涯スポーツ推進事業					事業コード	650105				
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち				政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり				
	施策名	1 する・みる・ささえる・はじめる生涯スポーツの推進				施策コード	511				
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課				所属長	本田 和裕				
会計情報	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	01 保健体育総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	262・264	頁
計画期間	開始年度	平成16年度	終了予定年度	令和10年度	関連計画名	福知山市スポーツ推進計画			R5現在の状況	継続中	
根拠法令等	-										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	スポーツ推進委員会事業、スポーツ少年団育成事業、スポーツ振興協働化事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	生涯スポーツ社会の実現に向けて、児童生徒から高齢者まで幅広くスポーツに親しむ機会を提供し、市民の多様なスポーツニーズに対応したスポーツ振興を図ることを目的とする。										
対象者	全市民				対象者数	76,000		単位あたりコスト	0.1		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 () 負担金支出										
委託先・実施主体等	一般財団法人福知山市スポーツ協会、京都府スポーツ施設協会										
事業概要 (箇条書き)	ニュースポーツ用品の貸し出しなど市民のスポーツ実施機会の提供と充実を図る。 ■ニュースポーツ用品貸出(コップインゴルフ、グラウンド・ゴルフ、ペタンク 他) ■スポーツ振興に係る経費やスポーツ振興に要する庶務的経費 ■民間により新設される温水プールの利用料の負担 ■プロ選手などによるスポーツ体験会の実施やスポーツ教室の取り組みにより市民へのスポーツを始めるきっかけをつくる										
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)			主な業務内容						
	報酬・職員手当等・共済費	3,321			臨時職員報酬・臨時職員職員手当等						
	報償費	15			臨時職員共済費・指導講師謝礼						
	旅費・需用費	132			出張旅費・消耗品費・印刷製本費						
	役務費・負担金補助及び交付金	288			電話代、郵送料・年会費						
委託料・使用料及び賃借料	189			スポーツ用品貸出業務委託料・会場使用料							

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	2,963	3,256	10,374	10,374	
	② 補正予算	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0		
	次年度繰越	0	0			
小計(①～③)	2,963	3,256	10,374	10,374		
予算財源内訳	① 一般財源	2,963	3,256	7,674	7,674	
	② 国支出金	0	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	2,700	2,700	
決算情報	① 流充用額	59	703			
	② 配当予算	3,022	3,959			
	③ 執行額	2,928	3,945			
	④ 執行率	96.9%	99.6%			
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.24 / 0.00	0.30 / 0.00	/	/	
	② 概算人件費	1,920	2,400			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	4,848	6,345				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類		実績金額	決算附属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
スポーツ教室受講者数	人	337 / 500	126 / 500	1402 / 500	/ 500	500	
		/	/	/	/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	スポーツ教室実施種目	種目	11 / 16	1 / 16	9 / 16	/ 16	16
	単位あたりコスト		322.5	2928.0	438.3		
	ニュースポーツ用品貸出件数	件	6 / 50	7 / 50	20 / 50	/ 50	50
単位あたりコスト		591.3	366.0	197.3			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	スポーツ振興に関する事務的経費が中心であり必要である。 スポーツ推進計画の目標達成にむけ必要である。 市民のニーズにこたえるため、さまざまなスポーツ教室を実施した。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	必要なコストの削減を行い事業を進めている。 スポーツに対する組織力とノウハウを活用するため、福知山市スポーツ協会に委託し、効率性を高めている。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	関連事業を円滑に行うために必要である。 さまざまな種目のスポーツ教室を行うなど、市民にスポーツとふれあう機会をより多く提供できている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・本市のスポーツ振興施策を展開していくための事務的経費であり、関係各事業の実施にあたっては、スポーツ協会をはじめとした関連団体と強固に連携することが必要であるため、今後も連携を深めながら、業務の効率化を進めていく。		
改善策	・スポーツ教室の開催について、受託先である(一財)福知山市スポーツ協会と連携し、より市民ニーズにこたえるスポーツ教室について意見を交換する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針 <input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	スポーツ教室の開始前に、令和受5年度に実施したスポーツ推進計画に関するアンケート調査結果等を踏まえ、より市民ニーズに対応した内容を検討する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	四都市スポーツ大会事業				事業コード	650107					
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち			政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり					
	施策名	1 する・みる・ささえる・はじめる生涯スポーツの推進			施策コード	511					
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課			所属長	本田 和裕					
会計情報	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	01 保健体育総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	264	頁
計画期間	開始年度	昭和27年度	終了予定年度	令和10年度	関連計画名	福知山市スポーツ推進計画		R5現在の状況	継続中		
根拠法令等	-										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	-										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	広く市民の間にスポーツを普及し、健康増進と体力の向上をはかり、スポーツを通じて、両丹地方相互の友好並びに親睦を図ることを目的とする。(四都市スポーツ大会趣旨)										
対象者	四都市スポーツ大会参加者			対象者数	399		単位あたりコスト	10.9			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (大会当番市への負担金交付)										
委託先・実施主体等	大会当番市(綾部市、宮津市、舞鶴市、福知山市で輪番)										
事業概要 (箇条書き)	・北部四市(福知山市、綾部市、舞鶴市、宮津市)のスポーツ協会所属の団体・競技者による競技会の実施。 ・競技会は、年次で実施し、冬季大会(スキー種目)・春季大会(陸上競技等 19競技23種目)の各競技の結果により、四市の総合順位を決定する。 ・第70回大会から、大会名称を「四都市スポーツ大会」に変更した。										
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)		主な業務内容							
	報償費・旅費	155		トロフィー・冬季大会旅費							
	需用費	426		消耗品費							
	使用料及び賃借料	211		会場使用料、駐車場使用料、リフト使用料							
	備品購入費	285		大会備品購入費							
	負担金補助及び交付金	480		大会負担金、選手激励負担金							

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,226	1,779	779	779				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0						
小計(①～③)	1,226	1,779	779	779					
予算財源内訳	① 一般財源	1,226	1,779	779	779				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	△ 149						
	② 配当予算	1,226	1,630						
	③ 執行額	22	1,557						
	④ 執行率	1.8%	95.5%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.39 / 0.00	0.35 / 0.00	/	/				
	② 概算人件費	3,120	2,800						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	3,142	4,357							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	四都市スポーツ大会事業(きょうと地域連携交付金)	種類	教育費府補助金	実績金額	421	決算附属資料	32	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	参加者数(市)	人	- / 690	- / 690	399 / 690	/ 690	690
総合順位	位	- / 1	- / 1	- / 1	/ 1	1	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	実施競技数	競技	- / 19	- / 19	16 / 19	/ 19	19
	単位あたりコスト		0.0	0.0	97.3		
	単位あたりコスト		/	9 /	/	/	四都市スポーツ大会事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 四市のスポーツを通じた交流として、各市に定着し、歴史・実績を積み重ねており、京都府北部地域で行う数少ない社会人の大会として認知されている。本大会の開催により府北部の競技団体の連携の機会ともなっている。 令和4年度は、春は福知山市が当番市として三年ぶり、冬は綾部市が当番市として四年ぶりに開催した。なお、福知山市が当番市であった、第70回大会からは、大会名称を「四都市体育大会」から、「四都市スポーツ大会」へと変更をした。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	競技協会が中心となって大会運営をおこなっており、事業の効率性は高い。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 京都府北部におけるスポーツ振興と競技力向上など有効な事業である。 新型コロナウイルス感染症によって失われた、交流の場の創出としても、有効な事業である。 第70回大会は新型コロナウイルス感染症の影響により、4種目(バレーボール(男女)、空手道、スキー競技)が中止となり、総合順位を設けないものとした。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 京都府北部におけるスポーツ振興・競技力向上と四市の親睦を図る大会として、歴史を積み重ねており、市民にも定着している。各市のスポーツ施設も老朽化しており、会場の確保のほか大会日程等も今後の課題である。 競技によって、人数がそろわない市もあるため、各競技の見直しも課題となってくる。 冬季大会については、会場の積雪不足、競技人口の減少が課題。 70回を数える歴史の中で市民や各競技関係者の四都市スポーツ大会に関わる志も変貌していきいている。市民や競技者のニーズに即した大会とするため、四市担当者間で検討している。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 長年の実施により定例化しているが、団体予選など他大会も同時期に開催されているため、選手確保が困難な競技もあり、実施競技・分散開催も含めた実施時期や会場等、現在の状況に応じた見直し等について、四市で検討する。 時代に即した大会として実施できるよう時期、会場、種目等について四市担当者にて検討する。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	R5年度に四都市スポーツ大会についてのアンケートを四市各競技団体に行った。今後も、各競技団体の意見を踏まえつつ、大会のあり方について協議を進める。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	福知山マラソン大会支援事業					事業コード	650109				
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち				政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり				
	施策名	1 する・みる・ささえる・はじめる生涯スポーツの推進				施策コード	511				
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課				所属長	本田 和裕				
会計情報	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	01 保健体育総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	264	頁
計画期間	開始年度	平成3年度	終了予定年度	令和10年度	関連計画名	福知山市スポーツ推進計画			R5現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山マラソン交付金交付要綱										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	-										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	本市の一大イベントであり、全国有数の歴史・実績・規模を誇る福知山マラソン大会を支援することで、大会を通じた地域の活性化を図ることを目的とする。										
対象者	市民、マラソン大会参加者、応援者				対象者数	100,000	単位あたりコスト	0.4			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	福知山マラソン実行委員会										
事業概要 (簡潔書き)	福知山マラソン(日本陸連公認大会)実施にかかる福知山マラソン実行委員会への運営交付金 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度、3年度と2年続けて大会を中止し、代替としてオンラインマラソンを実施したところであるが、令和4年度に第30回記念大会として、3年ぶりに開催した。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)			主な業務内容						
	負担金補助及び交付金	27,173			福知山マラソン大会交付金						

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	14,200	24,000	14,000	14,000				
	② 補正予算	△ 6,500	3,173	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0						
小計(①~③)	7,700	27,173	14,000	14,000					
予算財源内訳	① 一般財源	0	12,737	6,600	0				
	② 国支出金	0	436	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	7,000				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	7,700	14,000	7,400	7,000				
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	7,700	27,173						
	③ 執行額	7,700	27,173						
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.39 / 0.00	1.05 / 0.00	/	/				
	② 概算人件費	3,120	8,400						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	10,820	35,573							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	福知山マラソン大会支援事業基金繰入(ふるさと納税基金)	種類	基金繰入金	5,600	実績金額	42	決算附属資料	頁
		福知山マラソン大会支援事業(きょうと地域連携交付金)		教育費府補助金	7,228		32		
		福知山マラソン大会支援事業(地方創生臨時交付金)		教育費国庫補助金	436		22		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	参加者申込人数	人	- / 11200	604 / 5000	3888 / 11200	/ 6000	6000
RUNET大会レポート評価点	点	- / 100	- / 100	78.8 / 100	/ 100	100	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	事務局会議開催回数	回	3 / 12	3 / 12	9 / 12	/ 12	12
	単位あたりコスト		1199.7	2566.7	3019.2		
			/	11 /	/	/	福知山マラソン大会支援事業
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 全国有数のフルマラソン大会として、内外に認知されており、他のイベントによる代替はできない。 全国のランナーからの認知度も高く観光・宿泊など大会を取り巻く環境への効果からも必要性は高い。 福知山市内の多くの団体の協力を得なければ実施できない事業であり、市で実施する意義は大きい。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 参加料や協賛金を主たる財源として運営しているが、令和4年度においては参加者数の減少により、例年に比べて市の負担が大きくなった。 本年においては、ふるさと納税の返礼品としてマラソンの出走権を出品し、これまでとは異なる財源の確保に努めた。 実行委員会を組織して運営することで、民間に近いコスト感覚を持ちながら迅速な事務執行ができています。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は参加者申込人数の定員を満たすこととしているが、令和4年度に至っては3年ぶりの開催かつ新型コロナウイルス感染症の影響が未だ残る中での開催となったため、参加者申込人数は目標を下回った。 参加者申込人数を増やすために、本市内の大型ビジョンや京都サンガF.C.ホームタウンデーにおける広報、直前までのエントリー受付など新たな取り組みを実施した。 他大会の動向を常に参考にしながら、大会の運営に向けた検討を進めており、また、外部資源として、参加料や協賛金の獲得に努めている。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度は3年ぶりの開催となり、参加者数が大きく減少し、またスポンサー料も減少することとなってしまったが、ランナーが減少することにより、ランナー一人ひとりに対して、手厚いサービスを行うこともでき、悪天候での開催であったもののランナーからの評価は悪化しなかった。 参加者数が大きく減少した場合は、参加料収入も減少することとなるため、収支の均衡を取り戻すかが今後の課題である。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 第30回大会を一つの節目として、第31回からは「再始動(Re:Start)」を前面に打ち出し、1991年の第1回大会に立ち返ることで、再度大会の基盤を高めていく。 福知山市以外の多くの地域でもマラソン大会が開催されるようになる中で、より「競技性」の高い大会を目指し、他の大会と異なる独自性を持たせることで、新規ランナーの獲得を図る。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	第31回大会を「ReStart」大会と位置づけ、競技性の向上や、福知山らしさを前面に打ち出したええもんステーションなどに取り組んだ。今後も、参加者確保の取り組みや、大会運営の方法を工夫するなど、新たな福知山マラソンを実施していく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	スポーツ振興事業					事業コード	650111				
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち				政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり				
	施策名	1 する・みる・ささえる・はじめる生涯スポーツの推進				施策コード	511				
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課				所属長	本田 和裕				
会計情報	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	01 保健体育総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	264	頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和10年度	関連計画名	福知山市スポーツ推進計画			R5現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市スポーツ振興事業補助金交付要綱										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	体育施設設備維持管理事業、体育施設設備整備事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	全国規模の大会等の誘致・開催、京都府民総合体育大会への選手派遣の支援、京都サンガF.C.のホームタウンに係る活動等を通じて、市民のスポーツへの関心を高めるとともに、市民の「みる」「ささえる」スポーツ大会を創出し、更なるスポーツ振興に加え全国各地から選手等が来福することにより地域活性化に資することを目的とする。										
対象者	市民	対象者数	76,000	単位あたりコスト	0.1						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	(一財)福知山市スポーツ協会										
事業概要 (箇条書き)	■本市で開催する全国規模の大会、西日本や近畿規模の大会の運営支援に対する補助金 ■(一財)福知山市スポーツ協会等との共催による各種スポーツ大会の開催に対する負担金 ■京都サンガF.C.ホームタウンデーにかかる活動										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)	主な業務内容								
	旅費	20	出張旅費								
	需用費	21	消耗品費								
	使用料及び賃借料	26	高速道路通行料								
	負担金補助及び交付金	2,334	全国大会等開催補助金								

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	3,201	3,750	3,454	4,100				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0						
小計(①~③)	3,201	3,750	3,454	4,100					
予算財源内訳	① 一般財源	1,101	1,250	1,154	1,100				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	2,100	2,500	2,300	3,000				
決算情報	① 流充用額	△ 13	△ 113						
	② 配当予算	3,188	3,637						
	③ 執行額	1,055	2,401						
	④ 執行率	33.1%	66.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.56 / 0.00	0.53 / 0.00	/	/				
	② 概算人件費	4,480	4,240						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	5,535	6,641							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	スポーツ振興事業基金繰入(ふるさと創生事業基金)	種類	基金繰入金	実績金額	1,400	決算附属資料	40	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	主催大会参加選手・役員数	人	635 / 3000	784 / 3000	1353 / 3000	/ 3000	3000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	補助対象大会数	回	3 / 10	3 / 10	7 / 10	/ 10	10
	単位あたりコスト		377.0	351.7	343.0		
	主催事業大会数	回	3 / 8	3 / 8	5 / 8	/ 8	スポーツ振興事業
単位あたりコスト		377.0	351.7	480.2			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 大規模大会の開催は、市民のスポーツを「みる」機会の提供に繋がるため、競技団体を通じた大会誘致は必要である。 サンガスタジアムにて、京都サンガF.C.の福知山市ホームタウンデーを開催し、観光協会と連携した特産物のブース出店や、本市スポーツ少年団のスタジアム内行進、大型ビジョンでの本市PR動画放映など、本市のPR活動を行った。 京都サンガF.C.は京都府唯一のJリーグチームであり、ホームタウンデーにおいては、本市市民であれば優待価格で観戦できるため、市民のみるスポーツの促進につながる。 市が支援することによる大会誘致により宿泊や観光などへの波及効果は高い。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 大規模大会の開催にあたっては参加料の他、財源の多くは主管団体の自主財源(参加費、協賛金等)によるものである。 全国各地から多くの参加者が本市を訪れることによる経済効果も期待できる。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は、本市主催事業をすべて実施した際に想定される参加人数としているが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった大会もあるため、すべての大会を実施することができず、達成することができなかった。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> ハイレベルな大会を本市で開催することは、市民のスポーツへの関心を深めることに加え、全国大会等に出場することのできるトップアスリートの育成や指導者の養成にもつながるため、継続的に本市で開催ができるよう、各競技団体との連携に加え、施設・設備をはじめとした受け入れ態勢の整備が必要である。施設の老朽化など受入体制を整えることに課題があるが、効率のよい施設修繕や整備計画の整理などを行っていく。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 大規模スポーツ大会開催の誘致や継続開催に向けて競技団体等との連携を強化するとともに、各種スポーツ施設の整備や維持管理を実施する。 京都サンガF.C.のホームタウンとなっていることを活用し、京都サンガF.C.の選手との交流など、京都サンガF.C.との連携事業について検討していく。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度に見直しを行うスポーツ推進計画に基づき、各スポーツ施設の整備や維持管理を図る。 亀岡市のスタジアムでのイベント参加だけでなく、本市に京都サンガF.C.の選手を招聘しイベントを開催するなどより多くの市民を巻き込んだ取り組みを検討する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	トップアスリート育成支援事業					事業コード	650123				
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち				政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり				
	施策名	1 する・みる・ささえる・はじめる生涯スポーツの推進				施策コード	511				
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課				所属長	本田 和裕				
会計情報	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	01 保健体育総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	264	頁
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和4年度	関連計画名	福知山市スポーツ推進計画			R5現在の状況	廃止/休止	
根拠法令等	福知山市トップアスリート全国大会出場事業補助金交付要綱、福知山市ジュニア育成大会等運営補助金交付要綱										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	-										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	競技者やジュニアスポーツの支援に加え、市外スポーツ団体との交流を促進し、本市の競技スポーツの普及と振興を図り全国大会等へ出場する選手の支援を目的とする。										
対象者	トップアスリートをはじめとする市内競技者(各競技協会登録者数)				対象者数	8,400		単位あたりコスト	0.6		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等											
事業概要 (箇条書き)	■トップアスリート全国大会出場補助金：全国大会出場にかかる用具費、旅費の一部を補助(1/2:上限20千円) ■ジュニア育成大会等運営補助金：小中学生の競技力向上事業の実施に必要な(団体内謝金等は対象外)経費の一部を補助(1/2:上限100千円)										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)			主な業務内容						
	負担金補助及び交付金	1,117			トップアスリート育成支援補助金等						

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	2,700	2,700	0	0				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	2,700	2,700	0	0					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	2,700	2,700	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	△ 263						
	② 配当予算	2,700	2,437						
	③ 執行額	549	1,117						
	④ 執行率	20.3%	45.8%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.34 / 0.00	0.50 / 0.00	/	/				
	② 概算人件費	2,720	4,000						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	3,269	5,117							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	トップアスリート育成支援事業基金繰入(ふるさと創生事業基金)		種類	基金繰入金	実績金額	925	40	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	全国大会出場者(団体)	人	16 / 200	56 / 200	68 / 200	/ -	200
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	補助金申請件数	件	7 / 50	23 / 50	36 / 50	/ -	50
	単位あたりコスト		25.6	23.9	31.0		
	単位あたりコスト		/	15 /	/		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 全国大会出場に係る支援措置として実施している。 また、ジュニア(ソフトテニス、バスケットボール)の2件の選手育成や大会運営を支援し、ソフトテニスでは、全国大会出場などの成果もあった。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 要綱に基づいて適正に実施している。 申請手続きなど事務が煩雑となった。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	福知山市スポーツ推進計画の理念である「する」スポーツの推進として、ジュニア層の選手の育成に寄与している。 全国大会等への出場の際の負担軽減に有効であり、36件の団体等に対し交付した。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 本市から全国大会等へ出場する選手の育成を支援することで競技人口の拡大や競技力の向上に効果がある。(令和2年度からコロナ禍にも関わらず、年々全国大会出場者や補助団体が増えている。) 令和元年度から3年間の時限で実施しコロナ禍の影響により令和4年度まで1年間延長した。全国大会出場者への支援策として負担軽減など成果はあった。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ振興協働化事業と合わせて民間資金や活力を活用し、福知山市スポーツ協会による柔軟な事業運営で、本市の競技者の競技力向上と郷土愛をはぐくむとともに、本市を全国に発信するトップアスリートの育成を図る事業として、実施してきた。 令和4年度をもって事業終了 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	スポーツ賞表彰事業					事業コード	650131				
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち				政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり				
	施策名	1 する・みる・ささえる・はじめる生涯スポーツの推進				施策コード	511				
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課				所属長	本田 和裕				
会計情報	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	01 保健体育総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	264	頁
計画期間	開始年度	昭和46年度	終了予定年度	令和10年度	関連計画名	福知山市スポーツ推進計画			R5現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市スポーツ賞基金条例、福知山市スポーツ賞に関する規則										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	-										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	全国大会等で活躍した競技者の栄誉を称え、競技力の更なる向上とスポーツの普及・振興を図ることを目的とする。										
対象者	全市民				対象者数	76,000		単位あたりコスト	0.0		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等											
事業概要 (箇条書き)	福知山市スポーツ賞基金条例及び福知山市スポーツ賞に関する規則に基づき、運動競技で優秀な成績を収めた者(日本記録を樹立した者、又は全国競技会で優勝し表彰に値すると認められる者)を表彰する。										
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)			主な業務内容						
	報酬	10			選考委員報酬						
	報償費	29			表彰盾						
	需用費	12			印刷製本費						
	役務費	12			手数料						

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	172	172	172	172			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0	0			
	次年度繰越	0	0	0	0			
小計(①~③)	172	172	172	172				
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	172	172	172	172			
決算情報	① 流充用額	0	△ 58					
	② 配当予算	172	114					
	③ 執行額	57	63					
	④ 執行率	33.1%	55.3%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.29 / 0.00	0.21 / 0.00	/	/			
	② 概算人件費	2,320	1,680					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	2,377	1,743						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	スポーツ賞表彰事業基金繰入(スポーツ賞基金)	種類	基金繰入金	実績金額	51	38	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	受賞者件数	件	1 / 5	2 / 5	3 / 5	/ 5	5
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	候補者照会先	団体	20 / 20	21 / 20	47 / 20	/ 20	20
	単位あたりコスト		2.2	2.7	1.3		
	単位あたりコスト		/	17 /	/	/	スポーツ賞表彰事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 全国大会等で優秀な成績を挙げた選手を顕彰する事業であり、選手や競技団体の意識の向上が期待でき、その意義は大きい。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 事業の性格上、受益者(受賞者)に負担を求めるものではなく、受賞者の栄誉を顕彰するものであり妥当な水準である。競技協会などに照会を行い、表彰対象者について調査した。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 市内の競技者の栄誉を顕彰することで、競技者意識や競技力の向上にも有効であるため、表彰を行った。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 表彰対象者に漏れがないよう、対象者把握のための情報収集を徹底する。 様々な新競技、大会が実施される中で、賞の価値を維持するため、一定の統一性を持たせる。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 様々な新競技、大会が実施される中で、賞の価値を維持するため、事前の調査を徹底し、選考において基準がぶれないよう慎重に議論を行う。 障害者スポーツなども含め幅広い選考となるよう取り組む。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	チャレンジデー実施事業					事業コード	650152				
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち				政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり				
	施策名	1 する・みる・ささえる・はじめる生涯スポーツの推進				施策コード	511				
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課				所属長	本田 和裕				
会計情報	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	01 保健体育総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	264	頁
計画期間	開始年度	平成31年度	終了予定年度	令和10年度	関連計画名	福知山市スポーツ推進計画			R5現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市チャレンジデー実行委員会事業補助金交付要綱										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	-										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	チャレンジデーを実施することにより、スポーツの習慣化や住民の健康増進、スポーツ実施率の向上、地域の活性化を図る。 チャレンジデーの実施【概要】 人口規模が近い自治体間で運動やスポーツを行った住民の「参加率(%)」を競い、敗れた自治体は相手の自治体旗を庁舎のメインホールに1週間掲揚するユニークなルールで開催される住民総参加型のスポーツイベント。毎年5月の最終水曜日に世界中で実施される。										
対象者	市民	対象者数	76,000			単位あたりコスト	0.1				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	福知山市チャレンジデー実行委員会										
事業概要 (箇条書き)	福知山市チャレンジデー実行委員会への補助金交付 ・実行委員会においては、福知山市からの補助金に加え、笹川スポーツ財団からの助成金を原資に、各種関係団体と連携のもと広報やイベント実施を行っている。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)	主な業務内容								
	負担金補助及び交付金	125	チャレンジデー事業補助金								

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	0	280	280	1,195	
	② 補正予算	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0		
	次年度繰越	0	0			
小計(①～③)	0	280	280	1,195		
予算財源内訳	① 一般財源	0	280	280	0	
	② 国支出金	0	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	1,195	
決算情報	① 流充用額	0	0			
	② 配当予算	0	280			
	③ 執行額	0	125			
	④ 執行率	0.0%	44.6%			
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.00 / 0.00	0.53 / 0.00	/	/	
	② 概算人件費	0	4,240			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	4,365				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算附属資料	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	チャレンジデー参加率	%	0 / 0	0 / 0	45.8 / 51	/ 51	51
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	チャレンジデーイベント参加団体	団体	0 / 0	0 / 0	15 / 15	/ 20	20
	単位あたりコスト		0.0		8.3		
	単位あたりコスト		/	19 /	/	/	チャレンジデー実施事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 健康で心豊かに暮らせるアクティブシティの推進を図り、本市の「みる・する・ささえる・はじめる生涯スポーツの推進」の取り組みを促進させるため効果的である。 実行委員会を組織しなければ、チャレンジデーへの参加が認められないため、民間事業者や市民が自ら実施できる事業ではない。 市民にスポーツの習慣化の意識を醸成させるための取り組みとして、効果的に周知ができる事業であり、目的への達成手段として適切である。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> イベントの実施に当たっては、笹川スポーツ財団から助成金が交付されるため、市としての負担を軽減することができ、コストの削減が図れている。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> チャレンジデーは、住民の参加率を競うイベントであるため、参加率を実績とし、51%(過半数)をその目標としているが、参加率は45.8%と達成することができなかった。 チャレンジデーの参加団体については、競技団体のみならず、陸上自衛隊第7普通科連隊にも協力いただくなど、市全体の各種団体から協力いただき、全市を上げたイベントとして実施できた。 実施団体が運営費を負担しており、効果的に実施している。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> チャレンジデーというイベント自体が市民の間に少しずつ浸透してきており、市民の方の報告件数が増えてきている。本市のすすめる「する・みる・ささえる・はじめる生涯スポーツの推進」に寄与することができている。 チャレンジデー当日に15分以上の運動を実施しても全てが報告されていないため、更なる事業の周知が必要である。 令和4年度についても、新型コロナウイルス感染症の影響により、執行率が低くなっている。 		
改善策	広報、PR活動を強化しチャレンジデーの周知を図ることで、参加率の増加を目指し、アクティブシティの実現に寄与する。 具体的には、広告を掲載できる場所への積極的な掲載や、市民、事業者に協力を求めていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	R5年度で全国一斉開催のチャレンジデーは終了したが、市民の間にチャレンジデーというイベントが浸透してきており、本市の「する・みる・ささえる・はじめる生涯スポーツの推進」に寄与するイベントであることから、福知山市のイベントとして継続する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	体育施設維持管理事業					事業コード	650323					
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち				政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり					
	施策名	1 する・みる・ささえる・はじめる生涯スポーツの推進				施策コード	511					
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課				所属長	本田 和裕					
会計情報	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	02 体育施設費		会計	01 一般会計	決算附属資料	264・266	頁
計画期間	開始年度	平成16年度	終了予定年度	令和10年度	関連計画名	福知山市スポーツ推進計画・福知山市公共施設マネジメント基本計画		R5現在の状況	継続中			
根拠法令等	-											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	体育施設設備整備事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	体育施設の適切な維持管理により、市民ニーズに即した安心・安全なスポーツ環境を提供する。											
対象者	全市民			対象者数	76,000		単位あたりコスト	1.6				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	(一財)福知山市スポーツ協会、三段池総合公園内スポーツ施設管理運営共同事業体、(株)クリア、夜久野グラウンド・ゴルフ協会、個人 ほか											
事業概要 (箇条書き)	■指定管理制度による主要体育施設の管理運営 ■所管する体育施設の必要な小規模修繕 ■所管するその他の体育施設の維持管理											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)		主な業務内容								
	需用費・役務費	4,067		光熱水費、燃料費、施設修繕費ほか・建物総合損害共済分担金、樹木伐採手数料ほか								
	委託料	114,223		温水プール指定管理料、三段池公園スポーツ施設指定管理料、夜久野町グラウンド・ゴルフ場保守管理業務ほか								
	使用料及び賃借料	1,870		AED賃借料ほか								
	負担金補助及び交付金	1		球速測定器電波使用料								
補償、補填及び賠償金	1,535		不可抗力により発生した費用等に対する支援金									

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	105,361	106,304	87,490	86,171				
	② 補正予算	2,658	25,656	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0						
小計(①～③)	108,019	131,960	87,490	86,171					
予算財源内訳	① 一般財源	102,987	125,209	81,274	79,938				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	5,032	6,751	6,216	6,233				
決算情報	① 流充用額	0	127						
	② 配当予算	108,019	132,087						
	③ 執行額	107,957	121,696						
	④ 執行率	99.9%	92.1%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.49 / 0.00	0.28 / 0.00	/	/				
	② 概算人件費	3,920	2,240						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	111,877	123,936							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	市民運動場野球場ネーミングライツ料	種類	雑入	実績金額	2,200	決算附属資料	46	頁
		三段池公園多目的グラウンドネーミングライツ料		雑入		1,100		46	
		三段池公園テニスコートネーミングライツ料		雑入		1,008		46	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	指定管理施設利用者数	人	96124 / 200000	190977 / 540000	324275 / 540000	/ 540000	540000
(R3より三段池、長田野スポーツ施設を加算)							
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	指定管理施設数	施設	6 / 6	12 / 12	12 / 12	/ 12	12
	単位あたりコスト		7684.5	8996.4	10141.3		
	(R3より三段池、長田野スポーツ施設を加算)						
	単位あたりコスト			21 /	/		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 体育施設の適正かつ安心・安全な利用に向けて必要な事業であり、主要施設は、指定管理者制度を導入し民間事業者により運営している。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者制度により、効果的・効率的に運営している。ネーミングライツによる収入の確保に努めている。(SECカーボンスタジアム、ラビハウスフィールド、三段池公園科研電機テニスコート) 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者数も指定管理者により適正に把握されている。 ネーミングライツの導入により財源確保に努めている。 適切な維持管理により利用人数の増加を図るため、施設利用者数を成果指標としている。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 市内に点在する多くのスポーツ施設の老朽化が進んでおり、修繕費用がますます増大するおそれがある。 優先順位により施設の必要な改修、修繕を実施しているが、今後は、更に修繕等が必要となり、財源の確保が課題となる。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 施設の老朽化や市内各地に点在する多くのスポーツ施設の機能集約や利活用について検討し、本市スポーツ推進計画及び公共施設マネジメントに基づいた計画的で効率的・効果的な施設の維持管理を進める。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	施設の老朽化に対し、優先順位をつけ効率的な修繕や施設の維持に努める。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	体育施設設備整備事業					事業コード	650337				
政策体系	基本政策	5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいをもち、健やかで活動的なまち				政策目標	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり				
	施策名	1 する・みる・ささえる・はじめる生涯スポーツの推進				施策コード	511				
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課				所属長	本田 和裕				
会計情報	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	02 体育施設費	会計	01 一般会計	決算附属資料	266	頁
計画期間	開始年度	平成16年度	終了予定年度	令和10年度	関連計画名	福知山市スポーツ推進計画・福知山市公共施設マネジメント基本計画		R5現在の状況	継続中		
根拠法令等	-										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	体育施設維持管理事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	体育施設の維持保全と機能充実により、施設利用者の利便性と安全性の向上を図ることを目的とする。										
対象者	全市民				対象者数	76,000		単位あたりコスト	0.5		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	株式会社キタムラ、芦田建築設計事務所、株式会社今井工務店										
事業概要 (箇条書き)	体育施設の維持・機能性向上に向け、改修整備等を実施する。										
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)			主な業務内容						
	役務費	50			運搬料						
	委託料	3,592			撤去処分業務委託、市民体育館定期報告業務、温水洗浄式便座2組設置業務						
	使用料及び賃借料	4			高速道路通行料						
	工事請負費	29,847			市民運動場駐車場樹木撤去工事、市民体育館LED化工事、民体育館便所改修工事、市民運動場(庭球場)跡地駐車場整備工事						

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	16,540	38,733	63,388	184,266			
	② 補正予算	21,000	△ 2,433	0	0			
	③ 繰越予算	△ 19,768	9,038	10,730	0			
	前年度繰越	0	19,768	10,730				
	次年度繰越	△ 19,768	△ 10,730					
小計(①~③)	17,772	45,338	74,118	184,266				
予算財源内訳	① 一般財源	4,127	5,623	377	0			
	② 国支出金	0	0	0	15,000			
	③ 府支出金	0	0	788	19,466			
	④ 地方債	3,400	12,100	32,600	93,300			
	⑤ その他特財	10,245	27,615	40,353	56,500			
決算情報	① 流充用額	0	△ 127					
	② 配当予算	17,772	45,211					
	③ 執行額	15,717	33,493					
	④ 執行率	88.4%	74.1%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.39 / 0.00	0.28 / 0.00	/	/			
	② 概算人件費	3,120	2,240					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	18,837	35,733						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	体育施設設備整備事業基金繰入(公共施設等総合管理基金)	種類	基金繰入金	6,300	42	決算附属資料	頁
		体育施設設備整備事業(公通・脱炭素化)		教育債	1,800	56		
		体育施設設備整備事業(緊急防災・減災)(繰越明許費分)		教育債	6,300	56		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	所管体育施設利用者数	人	139092 / 230000	205637 / 570000	353510 / 570000	/ 570000	570000
	(R3より三段池・長田野公園のスポーツ施設を含む)		/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	改修・修繕実施施設数	事業	4 / 1	3 / 2	2 / 3	/ 3	3
	単位あたりコスト		547.8	5239.0	16746.5		
	単位あたりコスト		/	23 /	/	/	体育施設設備整備事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	多様化するスポーツニーズに対応した機能向上と、施設老朽化に伴う維持保全は必要性が高い。 市民体育館の照明をLED化し、環境負荷の低減を行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 改修工事等の執行にあたっては、競争入札等を採用し、競争の原理のもと適正に実施している。 対象とする施設についても福知山市スポーツ推進計画及び福知山市公共施設マネジメント基本計画に基づき優先順位により選定している。 市民体育館の照明をLED化し、省エネにつながった。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	施設整備により、利用者の利便性の向上と安全確保を図ることができるとともに、機能性向上による大規模大会の誘致にも有効である。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 市内に点在する多くのスポーツ施設の老朽化が進んでおり、修繕費用がますます増大するおそれがある。 優先順位により施設の必要な改修、修繕を実施しているが、今後は、更に修繕等が必要となり、財源の確保が課題となる。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 施設の老朽化や市内各地に点在する多くのスポーツ施設の機能集約や利活用について検討し、本市スポーツ推進計画及び公共施設マネジメントに基づいた計画的で効率的・効果的な施設の維持管理を進める。 R5については、市民運動場弓道場について、改修の実施設計を行う。また、市民体育館の管理棟の屋上防水工事をを行い、施設の長寿命化を図る。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針 <input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和6年度の予算要求額は、弓道場整備(10,000千円)や三段池公園テニスコートの照明灯LED化(30,000千円)、等により前年度予算額を大幅に超過している。 スポーツ推進計画に基づき、施設の整備については、優先順位をつけて効率的に整備する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--